

読んでスッキリ♪ いまさら聞けない？
話題のニュースを学べるマガジン

ご参考資料 ピクテ投信投資顧問

Bonjour

ボンジュール!!

2017年
3月2日号

Vol.346



ソフトランプに変身？！

● 落ち着いたトランプ大統領

2017年2月28日、トランプ大統領は、初めての議会演説となる施政方針演説を行いました。税制や雇用などに注目が集まっていた今回の演説ですが、30年ぶりの税制改革と1兆ドルのインフラ投資などを表明しました。

その話しぶりは、落ち着いていてまじめな印象で全体に無難な演説でしたが、その内容は新鮮味に欠け、従来の政策メニューを繰り返しただけの印象となりました。

● その中身は・・・

今回の演説の中身を確認してみましょう。まずは、これまでトランプ政権の政策で注目されていたインフラ投資と減税についてです。

①インフラ投資・・・今回の演説では、具体的な数字が示されたものがほとんどありませんでしたが、インフラ投資については、これまでどおり1兆ドル規模と表明し、議会に協力をあおいでいます。

②減税・・・トランプ大統領は先月、税負担軽減措置について「数週間以内に驚くべき発表がある」と述べていました。しかし、具体的な税率など詳細には触れず、期待はずれの印象となりました。

なかでも法人税については、下院共和党がまとめている「国境調整税」についての賛否も注目されていました。「国境調整税」とは、輸出で得

た収益は課税を免除する一方、輸入には課税するという仕組みですが、今回トランプ大統領はこの仕組みについては言及しませんでした。

● 予算教書へ期待先送り

具体性に欠けた印象の今回の演説でしたが、3月上旬には2018年度の予算教書の議会提出が予定されています。

具体的な財政政策については、そちらに期待を先送りした格好になり、市場では冷静な論調のトランプ大統領を好感し、米国株式は上昇しました。

予算教書では、今度こそ期待にこたえられるか注目されます。

■2017年米国の主な予算関連の政治日程

実施/予定	イベント	注目点
2017年 2月28日	施政方針演説	防衛、税制、雇用が焦点。法人税、所得税の具体化が注目された
3月上旬	2018年度予算教書	財政拡大路線を盛り込めるか？
3月15日	連邦債務法定上限引き上げ期限	他の法案(オバマケア廃止等)の政治的交渉に利用される可能性
4月15日	半期為替報告書	6月の米中戦略経済対話を前に、公約通り中国を為替操作国とするか
9月30日	2018年度予算成立期限	2017年度会計期間は9月30日まで。予算の成立、内容に注目
10月1日	2018年度会計期間開始	減税等が期限内に成立していれば当期からの経済効果も期待される

※日程は予定であり、変更の可能性もあります。
出所: 各種報道を参考にピクテ投信投資顧問作成

●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。